令和8年度 給与支払報告書の提出について

令和7年中(令和7年1月1日から令和7年12月31日)に支払いをした給与等について、下記事項にご留意の上、給与支払報告書等を作成・提出していただきますようお願いいたします。

| 総括表の作成について

※同封の総括表及び仕切紙(A3用紙)は、破線部分で切り離してご利用ください。

① 令和 8 年度 給与支払報告書(総括表) 足番号 (事業所番号) 0008123456 1月 30 日提出 8年 1月分から 給与支払者 個人番号又は法人番号 2 | 7 | 8 | 9 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 3 4 5 6 卸売業 事 業 種 目 給与支払 鬼北商事株式会社 の氏名又は名称 受 給 者 68 所得税の源泉 している事務 別從収対象 30 又は事業の名称 フ リ カ ナ 通数収対象者 近永 800 番地 1 (退職者) 普通微収対象。 4 同上の所在地 愛媛県北宇和郡鬼北町大字下鍵山 463 番地 (退職者を除く) 35 優告人員の合計 給与支払者が 代表取締役 近永 太郎 法人である場合 宇和島 税務署 の代表者の氏 税務署名 人事 課 給与 係 連絡者の氏所属課、係名 及び電話番号 氏名 日吉 柚美 給与の支払方法 每月25日 及びその期日 (0895) 45-1111 (電話 □□税理士事務所 関与税理士氏名 納入書の送付【要】 不 要 0895-49-0000

●個人番号又は法人番号

給与支払者が個人の場合は<u>個人番号</u>(12 ケタ)、法人の場合は<u>法人番号</u>(13 ケタ)を 記入してください。(右詰め)

❷給与支払者の名称 等

所在地・名称について、記載内容に変更が ある場合は、朱書きで訂正してください。

❸連絡者の氏名 等

提出給報等の内容について問い合わせをする場合がありますので、御担当者様の連絡 先を記入してください。

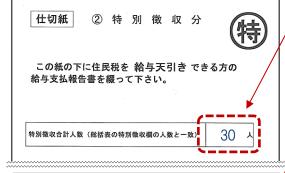
◆鬼北町報告人員(特徴・普徴)

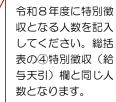
令和8年度(令和8年6月以降)の特別徴収の人数、 普通徴収の人数を記入してください。現在特別徴収 であっても、5月末までに退職予定の場合は、普通 徴収(退職者)に区分されます。退職予定のない方 で普通徴収になる場合は普通徴収(退職者を除く) へ記入してください。

6納入書の要否

当町指定の特別徴収税額**納入書の送付を希望される** 場合は、「要」に〇をしてください。「不要」を選択された事業所へは納入書を送付いたしません。

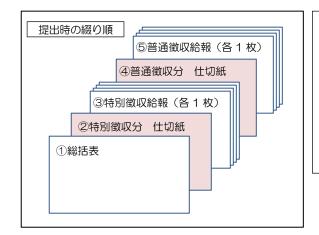
Ⅱ 仕切紙(特徴・普徴)の作成について







Ⅲ 提出方法について



総括表を先頭に、特別徴収分仕切紙、特別徴収分の給与支払報告書、普通徴収分仕切紙、普通徴収分の給与支払報告書の順にして、期限内に鬼北町へ提出してください。

Ⅳ 給与支払報告書(個人別明細書)の作成について

※令和5年1月以降提出分から、市町村への給与支払報告書(個人別明細書)の提出的数が、 人につきるなから1. おにかましたのました。

A 住所及び氏名、個人番号

給与の支払いを受ける方(以下、「受給者」という。)の、 令和8年1月1日現在の住所地を確認して記入します。 また、個人の特定に必要となりますので、氏名・フリガナ・個人番号を正確に記入してください。

B (源泉)控除対象配偶者の有無 等

◆ (源泉) 控除対象配偶者の有無 主たる給与等について、年末調整行っている場合で、控 除対象配偶者を有しているときは「○」、年末調整行っ ていない場合は、源泉控除対象配偶者を有しているとき に「○」を記入してください。また、当該配偶者が老人 控除対象配偶者(70歳以上)である場合は、老人の欄 に「○」を記入してください。

◆配偶者(特別)控除の額(年末調整をした受給者のみ) 配偶者控除、配偶者特別控除の額を記入してください。

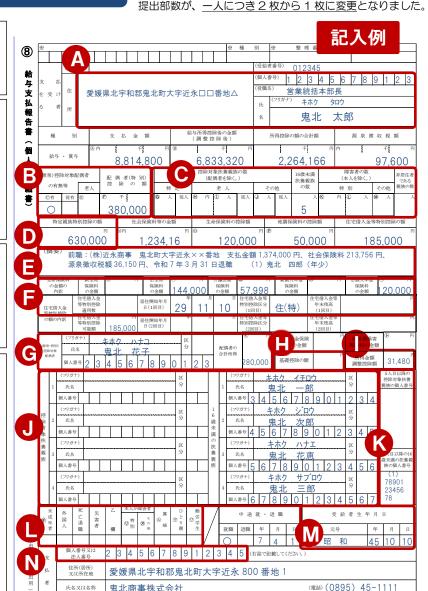
C 控除対象扶養親族等の数

控除対象扶養親族(特定、老人、その他)、16 歳未満の 扶養親族(平成 22年 1 月 2 日以後に生まれた者)に ついて、該当する欄に人数を記入してください。

D 特定親族特別控除の額(年末調整をした受給者のみ) 「給与所得者の特定親族特別控除申告書」に基づいて控 除した特定親族特別控除の額を記入してください。

E 摘要

- ◆控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合、5人目以降の控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族の氏名を記入します。この場合、氏名の前に括弧書きの数字を付し、「5人目以降の~個人番号」欄に記入する個人番号との対応関係が分かるようにしてください。また、当該扶養親族が16歳未満又は非居住者である場合は、氏名の後に(年少)又は(非居住者)と付記してください。
- ◆同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)を有する方で、当該配偶者が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合は、当該配偶者の氏名と、氏名の後に(同配)と付記してください。
- ◆他の支払者の給与等を通算して年末調整を行った場合、他の支払者の所在地及び名称、給与等の支払金額、社会保険料の金額、源泉徴収所得税額、退職年月日を記入してください。
- ◆相税条約に基づいて源泉所得税及び復興特別所得税 の免除を受ける方にについては、免税対象額及び該当条 項「○○条約○○○条該当」と記入してください。



G (源泉·特別) 控除対象配偶者

控除対象配偶者又は配偶者特別控除の対象となる配偶者の氏名・フリガナ・個人番号と、当該配偶者の合計所 得金額を記入してください。

H 基礎控除の額 (年末調整をした受給者のみ)

基礎控除の額は、「給与所得者の基礎控除申告書」から 転記してください。基礎控除の額が48万円の場合は、 記入を省略できます。

| **所得金額調整控除額**(年末調整をした受給者のみ) 給与等の収入金額が 850 万円を超え、次のいずれかに 該当し、所得金額調整控除の適用がある場合には、控除 の額を記入してください。___

- 1 本人が特別障害者である
- 2 23歳未満の扶養親族を有している
- 3 特別障害者である同一生計配偶者又は扶養親族を 有している

J 控除対象扶養親族等 等

控除対象扶養親族又は 16 歳未満の扶養親族の氏名・フリガナ・個人番号を記入してください。また、当該扶養親族が国外に居住する非居住者である場合には、区分の欄に「〇」を記入してください。

K 5人目以降の控除対象扶養親族又は16歳未 満の扶養親族の個人番号

上段に控除対象扶養親族の個人番号を、下段に 16 歳未満の扶養親族の個人番号を記入してください。なお、必ず個人番号の前に括弧書きの数字を付し、摘要欄に記入した当該扶養親族と照合できるようにしてください。

L 未成年、障害、寡婦、ひとり親 等

受給者本人が、未成年者、障害(特別・普通)、寡婦、ひとり親、勤労学生等に該当する場合は、該当の欄にOを記入してください。

M 生年月日

受給者本人の生年月日(元号表記)を記入します。個人の特定に必要となりますので、必ず記入してください。

N 支払者の個人番号又は法人番号

給与支払者の法人番号(支払者が個人の場合は、個人番号)を記入してください。

F 住宅借入金等特別控除

年末調整で住宅借入金等特別控除の適用を受けている場合は、特別控除可能額、居住開始年月日、控除区分(住・増・認・震)を記入してください。また、当該住宅の取得等が特定取得に該当する場合には、区分の後に(特)と付記してください。

【用語説明】●源泉控除対象配偶者=受給者(合計所得金額が 900 万円以下である方に限る)と生計を一にする配偶者で、合計所得金額が95 万円以下の方/●同一生計配偶者=受給者と生計を一にする配偶者で、合計所得金額が48 万円以下の方/●控除対象配偶者=同一生計配偶者のうち、合計所得金額が1,000 万円以下である受給者の配偶者